

## 計画停電・停電時の対応について

### 1) 電源復帰時の不具合発生回避について

停電復帰時に停止中の機器が一斉に稼働する事により発生する、一時的な過電流によって、施設の主電源ブレーカーが作動し不具合が発生する場合があります。又、使用機器の電氣的な不具合が発生する場合があります。これらを回避するために以下の措置をお願いいたします。

#### 停電発生時の対応について

機器の主電源スイッチをオフにしてください。  
主電源スイッチの無い機器は電源プラグを抜いて下さい。  
停電中はなるべく扉の開閉を避けて下さい。

#### 停電復帰時の対応について

1台ずつ順番に機器の主電源スイッチをオンにしてください。  
主電源スイッチの無い機器は1台ずつ順番に電源プラグを挿入して下さい。  
停電復帰後は温度が安定するまで、なるべく扉の開閉は避けて下さい。

### 2) 計画停電(3時間)での超低温槽の温度上昇について

停電中の温度上昇は機器の容積、収納物の量、外気温度によって異なりますが、目安として無負荷(収納物が無い状態)で一時間当たり約1.5℃上昇します。  
収納物が多く入っていると、温度の上昇は小さくなります。

### 3) 非常電源について

発電機による機器の運転は、電源が不安定になるためお勧めできませんが、やむを得ず非常電源に発電機を使用される場合は、機器の定格電流の3倍～5倍の能力のものがが必要です。

### 4) ドライアイス、保冷剤を使用する場合

ドライアイスは、超低温以外使用しないでください。  
ドライアイスを使用する場合の目安：3時間で5Kg～10Kg  
保冷剤は停電復帰後には逆に負荷となり、温度復帰に時間がかかってしまう為、取り出してください。また、ドライアイスについても停電復帰後には、庫内から取り出して下さい。

以上